

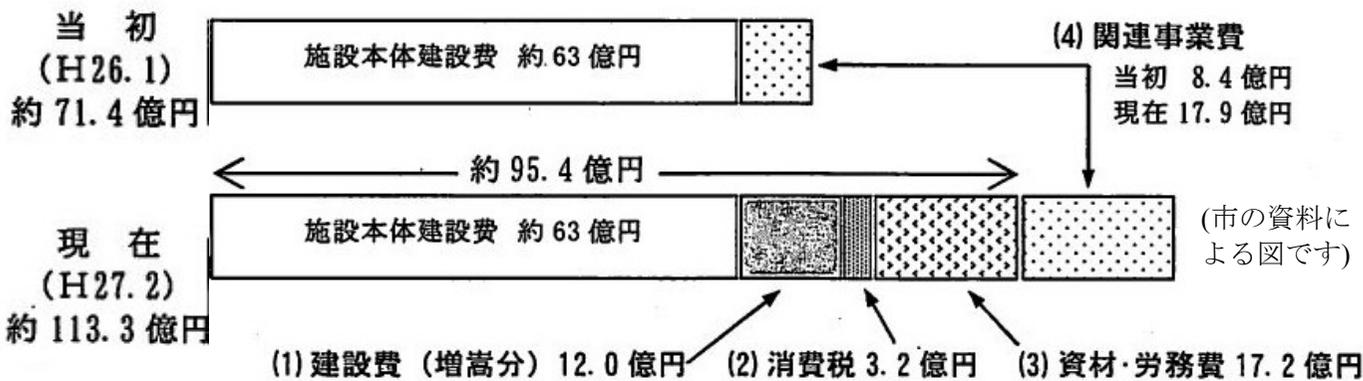
71億円から113億3千万円に

新水族博物館 概算事業費

18日に行われた市議会総務常任委員会では、新水族博物館の検討状況が報告されました。

そのうち概算事業費は、昨年示されていた約71.4億円から大幅に増額し、113.3億円に上る見通しであることが

明らかにされました。これは、実に6割増しの増額であり、大きな議論を呼びそうです。



いよいよ市民投票実施を提案へ

日本共産党議員団はこのほど(仮称)厚生産業会館の建設の是非を問う市民投票の実施を提案することを正式に決めました。

市民投票実施についての提案の趣旨では、「現在明らかになっている基本設計に基づく(仮称)厚生産業会館の建設については、その是非について市民意見が二分されており、市民に直接その賛成又は反対の意思を問う必要があることから、上越市自治基本条例及び上越市市民投票条例に基づき、市民投票を行う」としています。

今のところ、議会の冒頭に提案理由の説明を行い、総括質疑、委員会審査を経て、3月議会最終日に採決される予定です。

なお、18日の建設企業常任委員会では、基本設計に基づくイメージパース図や設計図などが示されたほか、今年5月末までに実施設計を終了し、本体工事に入るといった計画であることが明らかにされました。



建設企業委員会の様子

各委員からも疑問や質問が続出

この報告に対しては、各議員から質問が相次ぎました。上野議員は、「多くの子どもたちに愛されている施設であり、直江津地域の町づくりには欠かせない施設であるという思いがある。しかし、これほどの事業費の増額は、『やむを得ない』とはいえない。そもそも、前回の説明では、場所の変更や建物の構造の変更で、当初よりも安くなるなどの説明であったはずだ。建設費は、当初から入っていたのではないかと指摘しました。」

いがある。しかし、これほどの事業費の増額は、『やむを得ない』とはいえない。そもそも、前回の説明では、場所の変更や建物の構造の変更で、当初よりも安くなるなどの説明であったはずだ。建設費は、当初から入っていたのではないかと指摘しました。」

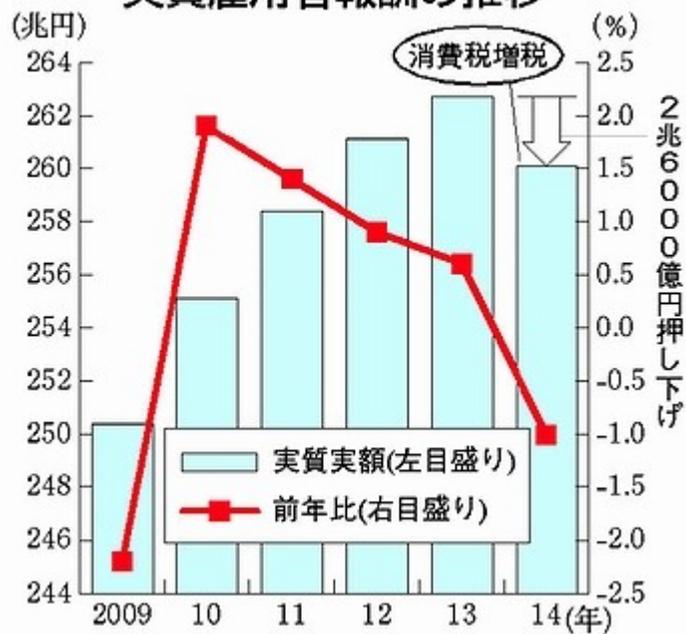
これに対して、担当者は「魅力あるものにするためというところで増額した。当初は精度の高い設計ではなく、基本設計の中で必要なものを具体化した」と説明しました。

この件の調査は引き続き行われます。しっかりと注目していきます。



新水族博物館の日本海シンボル大水槽 (イメージ)

実質雇用者報酬の推移



アベノミクスが日本の経済成長を止めた。上の表は17日付「しんぶん赤旗」より転載。

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 443 2015年2月22日

連絡先
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

日本共産党
総選挙勝利報告と
県議選必勝のつどい
午後4:00~5:30
2月22日(日) ユートピアくびき希望館



はしづめ 法一



藤野 やすふみ

みなさんお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

入場無料